

高校野球について

川上 孝

序

1. 高校野球の始まり
2. 高校野球の歴史
3. 私立高校と公立高校
4. 私立高校が強い理由
5. 公立高校が強い地域
6. まとめ

序

高校野球は、日本の学生スポーツで最も人気があるといっても過言ではないと思っている。その高校野球の中でも夏の甲子園は特に盛上がっている。

その高校野球の始まりや歴史、ほかにも私立高校や公立高校の野球部について調査し、分析する。

1. 高校野球の始まり

夏の甲子園の前身となる第1回全国中等学校優勝野球大会が開催されたのは、大正4年(1915年)のことである。当時すでに中等学校野球そのものは全国各地に広まっていたが、地域によって温度差は大きく、はるばる他県まで赴いてまでは全国大会の予選に参加しない県もあった。

日本に野球が伝わった時期については諸説あるが、明治の初期であることは間違いない。当初は旧制高校や大学を中心に行われており、やがて中等学校にまで広がった。明治30年代には各地の主要な

中等学校には野球部が誕生し、盛んな地域では、近県連合野球大会を開いたり、県外の中学校と対抗試合を開いたりしている。中等学校の野球は明治時代から人気が高く、第1回大会全国大会の開かれる10年ほど前に一度ピークを迎えている。19世紀に始まった中等学校野球は、21世紀を迎えて3世紀目に突入した¹。

2. 高校野球の歴史

今、高校野球が強い都道府県といえば、大阪府や神奈川県を思い浮かべる人が多いだろう。東北地方は、最近になってから全国レベルで戦えるようになったと思われる。今まで東北地方は、甲子園に出場しても初戦突破することが難しいレベルであった。しかし、戦前の岩手県は、強豪がそろっている県でもあった。全国の各都道府県の実力は、時代によって大きく動いている²。

夏の甲子園で最も優勝回数が多い都道府県は、大阪府の12回である。大阪府は、春の選抜でも9回優勝している。ちなみに春の選抜で最も優勝回数が多い都道府県は、愛知県の10回である。

大阪府は、春夏21回も優勝しており、全国で最多である。やはり大阪府は、全国で最も高校野球の盛んな地域ということがわかる。

3. 私立高校と公立高校

高校野球といえば、私立が強いイメージがある。私立と公立では選手能力の違いも特徴的である。しかし、公立にも公立ならではの良さがある。技術能力が高いと選手は「個人力」に走るが、技術能力が低いと選手は「チームの組織力」で補おうとする。チームの組織力を上げていけば公立にも勝機はある。これは、公立の大きなア

¹ 森岡浩『県別 全国高校野球史』（東京堂出版、2001年）前書きにかえて。

² 森岡・前掲・前書きにかえて。

ドバンテージだと思っている³。

だが、公立高校は、短時間の練習しかできない環境にある。このため地域によっては、公立高校が強い地域もあるが、大半の地域は私立高校が強い。

4. 私立高校が強い理由

私立と公立では、練習時間の長短、選手能力の違いがある。野球が強い私立高校は、設備が充実しているところが多い。ナイター照明があったり、室内練習場があったりと設備が充実しているということができる。

毎年のように甲子園に出場してくる常連校も存在する。これら常連校の多くは全国から有望な選手を集め、いわゆる野球留学を受け入れている私立高校である。強豪と呼ばれる私立高校は全国のシニアリーグやボーイズリーグなど、中学生の硬式野球チームと深いパイプを持ち、素質のある選手や実績のある選手をスカウトする。

もちろん選手が集まっただけで甲子園に出場できるとは限らないが、強豪私学には選手を育成するための人材や設備も整っている。さらに親元を離れて生活することで野球に専念できる環境となるのも大きい。甲子園に毎年出場してくる私立高校には一般的な高校にはないメカニズムが存在する⁴。

私立高校は、特待生で全国から有望な選手を集めることができるので、野球のレベルを上げていくことができる。そして、全国的に有名になることができれば人気も上がり、有望な選手を集めること

³ 遠藤友彦の人間力！『第19回 公立高校が勝つためには』（2014年6月24日）

<http://www.hb-nippon.com/column/969-entomo/8514-20140626no19ento>。

⁴ トルコの出来事『高校野球で強豪校が強い理由』

<http://www.burasiturkiye.com/%E9%AB%98%E6%A0%A1%E9%87%8E%E7%90%83%E3%81%A7%E5%BC%B7%E8%B1%AA%E6%A0%A1%E3%81%8C%E5%BC%B7%E3%81%84%E7%90%86%E7%94%B1/>。

ができる。

5. 公立高校が強い地域

高校野球は、私立高校が強い地域が大半である。だが、公立高校が強い地域もある。

公立高校が強い都道府県として、徳島県はその代表的な地域といえる。徳島県は、全国で唯一、私立高校が甲子園に出場したことがない県である。徳島県は、硬式野球部のある私立高校が1校しかない県である。徳島県で有名な高校といえば、池田高校や徳島商業高校が思い浮かぶが、公立高校である。

佐賀県も公立高校が強い地域である。佐賀県は、夏2回の優勝経験がある。優勝経験がある佐賀商業高校と佐賀北高校は、公立高校である。秋田県や千葉県も公立高校が強い地域である。私立高校は、大阪府や神奈川県、東京都というような都市圏だけではなく、青森県や福島県といった地方でも、私立高校が強い地域がある。なぜ、このような違いがあるのだろうか。

青森県にある青森山田高校や八戸学院光星高校、福島県にある聖光学院高校は、全国から特待生を集めている。2011年の「聖光学院」と「光星学院」は大阪、兵庫、東京などの少年野球チーム出身の選手がそれぞれ10人ベンチ入りしていた。しかも10人全員が3年生で、スタメンとして重要なポジションを任されている⁵。

それらの学校は、今となれば県の強豪校になっており、全国的に有名な学校である。強豪校になれば、さらに有望な選手が集まる。有望な選手を集めることが出来たら、さらに強くなるのである。

ある東北の強豪私立の監督は、「甲子園を目指すのであれば、やは

⁵ 三万人のための総合情報誌 選択『高校野球改革の欺瞞 新特待生制度は抜け道だらけ』

〈<http://www.sentaku.co.jp/category/culture/post-2164.php>〉。

りその地域の強豪校にということになるでしょう。」と言っている⁶。

一方、徳島県や佐賀県は、全国的に有名な私立高校が無く、公立高校のほうが全国的に有名である。公立高校のほうが強いため、県内の選手は、地元の公立高校に進学して野球する選手が多い。有名な私立高校が無い場合、全国から有望な選手が集まりにくいといえる。だから、徳島県や佐賀県は公立高校が強いのである。公立高校が強い地域は、私立高校より公立高校のほうが全国的に有名であるということが多い。青森県や福島県みたいに私立高校が野球に力を入れたら、徳島県も私立の時代がやってくるだろう。

6. まとめ

プロ野球と高校野球を比較すると、もちろんプロ野球のほうがレベルが高いわけであるが、高校野球は、プロ野球には無いところもたくさんある。プロ野球は、1年間で144試合のペナントレースを戦う。一方、夏の甲子園は、トーナメント方式であり、負けた時点で終わりという戦いである。選手達の1球にかける思いもプロ野球と高校野球では違いがある。

高校野球の歴史を見ると、全国の各都道府県の実力は、時代によって大きく動いている。

私立高校は、特待生で全国から有望な選手を集めることができいて、さらに設備が充実しているので、公立高校より強い。

公立高校が強い地域は、私立高校より公立高校のほうが全国的に有名であり、私立高校が野球に力を入れてないことがわかる。

⁶ 少年硬式野球監督『中学硬式が高校へ向けてなぜ有利なのか?』（2009年9月20日）

〈<http://kantoku-yakyu-cozo.seesaa.net/article/323923597.html>〉。